

## 競技上の注意

- 1 競技規則  
2017年度公益財団法人日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。ただし、別に定める小学生バレーボール競技規則を用いる。
- 2 競技方法  
(1) 試合は、すべて3セットマッチ(2セット先取)とする。  
(2) 試合は、追い込み方式で進める。ただし、連続する場合は最大15分間の休憩をとる。  
(3) 試合が終わったチームは、速やかにベンチを空けること。次の試合のチームは、該当コートに集まり、監督はラインアップシートを記録席に提出すること。
- 3 チームの編成  
チームの編成は、監督・コーチ・マネージャー各1名、選手14名以内とする。ただし、全日本小学生バレーボール大会については選手12名以内とする。有効に登録された者以外のベンチ入り、公式練習への参加は認められない。
- 4 服装について  
(1) 選手の背番号は、1～99とするが、競技運営上1～14が望ましい。ただし、全日本小学生バレーボール大会については1～12が望ましい。  
(2) 冬季の大会(12～3月)のみ半袖ユニフォームの下に統一された長袖アンダーシャツを着ること。夏場の大会は、パンツの裾からはみ出て見えるようなアンダーパンツは年間を通して認められない。  
(3) 監督・コーチ・マネージャーの服装は、チームで統一されたものであること。Tシャツ・短パン・ハーフパンツでのベンチ入りは認められない。(児童がマネージャーの場合は、この限りでない。)  
※ 統一された服装とは、原則すべて同じものとする。ポロシャツ等のワンプライントのロゴ等については許容範囲とする。しかし、スポンサーのライインの相違は許容されない。  
(4) 監督・コーチ・マネージャー章は、必ず左胸部に着用すること。着用のない者のベンチ入りは認められない。
- 5 チームスタッフ及び選手の変更  
大会プログラムに記載された、チームスタッフ及び選手の変更に関しては、エントリー用紙に記入し、受け付け時に本部席まで提出し承認を得ること。ただし、公益財団法人日本バレーボール協会に登録済みであることを前提とする。承認後の変更は認められない。
- 6 その他  
(1) ベンチには、競技に必要な飲料水・タオル・救急用具以外の物品は持ち込まないこと(体を冷やす目的のうちわは持ち込み可)。飲料水は床にこぼさないように注意すること。また、荷物はベンチ裏に置くこと。  
(2) 各試合会場では、上・下履きの区別、喫煙及び立ち入り禁止区域、ごみ処理等の社会ルールを厳守のこと。各試合会場のコンセンクトは、使用禁止とする。特に、保護者応援団に対し、指導者よりルール・マナー遵守の徹底を図ること。  
(3) 隣のコートでの試合や、周りの人たちの邪魔にならないような応援を心がけること。鳴り物(太鼓・ラッパ・笛等)による応援は、複数のコートで全て試合が行われていないときのみの使用してもよい。1コートでのみの試合では、ラリー中以外は使用してもよい。「鳴り物」にはペットボールを叩く音は含まれないが、公共施設(手すりなど)を叩くことやペットボールの中に物を入れ、音を増幅させることは禁止する。

## 審判上の注意

- 1 トスについて  
(1) トスは、記録席で試合開始11分前に行う。  
(2) トスにはチームキャプテンが立ち会い、キャプテンマークのついたユニフォームを着用していること。
- 2 公式練習は各チーム3分間とする。ただし、両チーム合同で行う場合は6分間とする。
- 3 公式練習は、エントリーされたメンバー以外は認められない。すべての構成員は競技規則を遵守し、スポーツマンとしてふさわしい行動をとること。
- 4 ワンボールシステムで試合を行う。そのため、デッドになったボールは速やかに相手チームのサーブに送ること。
- 5 監督は、試合を妨害しない限り、フリーゾーン内ならばアタックラインの延長線からウォームアップエリアまでの範囲内において一時的にベンチを離れてコート内の競技者に指示を与えてもよい。ただし、ラリー中はベンチに座らなければならない。また、記録席に最も近い位置に着席すること。
- 6 コート・ワイピングは、コート内の競技者が行うことを原則とする。試合中、競技者は小さなタオルを身につけ、汗でぬれた場合はコート内の競技者で拭くこと。ただし、審判の指示によりベンチの交代競技者がモップを使用することがある。(競技者やスタッフが審判にモップ使用の要求をすることは遅延行為の対象となることがある。)
- 7 競技者がボールをプレーしている間、あるいはプレーを妨害しようとして、アンテナ及び両アンテナ間のネットへ接触した場合は反則となる。
- 8 一連の動作中であれば、第2、第3回目のボールへの接触でもダブルコンタクトの反則にはならない。
- 9 ラリー中は、交代競技者はベンチに着席しているか、ウォームアップエリアに位置していること。ベンチ横に立たせての応援等は禁止とする。
- 10 競技者が負傷して例外的な競技者交代をした場合、負傷した競技者はその試合に復帰することはない。
- 11 タイムアウトの要求には、必ず公式のハンドシグナルを用いること。また、競技者の交代については、交代競技者がサブスタイチェューション・ゾーンに入り、片手を挙げ、速やかに行うこと。
- 12 テクニカルタイムアウト(1、2セット目は11点、3セット目は8点)の際は、必ず水分補給をさせること。